

福島大学うつくしまふくしま未来支援センター
名古屋シンポジウム

ほんとの空が 戻る日まで

— 震災・原発事故から5年を迎える福島を考える —

日時

2016年

3/5 土 13:00 ~ 17:30

会場

愛知大学 車道キャンパス コンベンションホール
名古屋市東区筒井二丁目10-31

プログラム

I 部 鼎談「悲しみ乗り越え前に進む子ども達、進めずにいる子ども達」
堀下 さゆり 氏 / 中田 スウラ* / 本多 環* ※福島大学

II 部 福島の現状報告

福島の現状と課題 ~復興を拓く〈学び合うコミュニティ〉の形成に向けて~
産業・街づくり支援担当報告 原子力災害被災地の復興の課題~避難者・まちづくり・産業~
食・農復興支援担当報告 放射能汚染からの食と農の再生を~5年間の挑戦と到達点~
放射能汚染対策担当報告 福島県における放射線(能)の現状

III 部 パネルディスカッション

「—震災・原発事故から5年を迎える福島を考える—」

[モデレーター] ■ 山川 充夫 氏 帝京大学 経済学部教授 (福島大学名誉教授)

[パネリスト] ■ 松本 幸英 氏 福島県双葉郡 楡葉町長
■ 林 由美子 氏 タカラ印刷株式会社 取締役会長
■ 土屋 葉 氏 愛知大学 文学部准教授
■ 天野 和彦 氏 福島大学 客員准教授

参加対象者

一般市民、大学関係者、学生、行政職員、
福島県から避難している方 他

- 主催：国立大学法人福島大学、福島大学うつくしまふくしま未来支援センター
- 共催：愛知大学、愛知大学中部地方産業研究所
- 後援団体：文部科学省、復興庁、福島県、双葉地方町村会、経済同友会 他 (予定)



楡葉町長(福島県双葉郡)
松本 幸英 氏

双葉郡楡葉町は福島第一原子力発電所から約20kmに位置し2011年3月11日に福島第一原子力発電所事故の影響により、町域の大半が警戒区域に指定された。2015年9月5日に避難指示が解除され、現在町民の帰還、町の復興に取り組んでいる。



シンガーソングライター
堀下 さゆり 氏

東京や名古屋、京都で積極的にライブ活動を行う傍ら東海ラジオやFM愛知でラジオパーソナリティーを務めた他、現在では作詞提供・楽曲提供やCMソングを手がける等多彩な顔を持つ。2011年3月11日地元相馬市にて東日本大震災に会う。3月末からは「そうまさいがいFM」のパーソナリティーを手伝う傍ら、避難所でのライブ等ボランティア活動を積極的に行ってきた。

参加募集人数 **200名**

参加費 **無料**

事前申込みが必要です。

参加ご希望の方は裏面の参加申込方法により
2月19日(金)までにお申込み下さい。

(事前申込制 定員になり次第、締め切ります)



福島大学うつくしまふくしま未来支援センター名古屋シンポジウム

開催目的

東日本大震災及び福島第一原子力発電所事故から5年を迎えようとしています。

福島では、コミュニティの崩壊、震災関連死、中間貯蔵施設、廃炉、子ども達の孤立化・住民の帰町・帰村、食の安心安全、風評などの課題が未だ解決されていません。しかしながら、すでに「福島」が風化しているとの声も聞かれます。地震・津波・原発事故という人類が初めて直面する複合震災からの復興に挑む**福島が抱える課題は、これからの日本が21世紀を切り拓き持続可能な社会を創造するうえでも重要な課題です。**これを時間の経過の中に埋没させ「風化」させることは、人類の未来を拓こうとする一つの扉を見失うことにも等しく、こうした「風化」を看過することはできません。

今回のシンポジウムにおいては、今の福島を中京圏の方々に正しく伝えることにより、**福島の経験を「復興知・支援知」として活かし、これからの地方創生に繋げていくことを目的に開催いたします。**

プログラム

受付	12:50～	DVD上映	うつくしまふくしま未来支援センター活動紹介
開会	13:00～ 13:15	挨拶	中井 勝己 福島大学長 川井 伸一 愛知大学長
I 部	13:20～ 14:05	鼎談	「悲しみ乗り越え前に進む子ども達、進めずにいる子ども達」 堀下 さゆり氏 (シンガーソングライター) 中田 スウラ (FUREセンター長) 本多 環 (FUREこども支援担当特任教授)
II 部	14:20～ 15:55	福島の実況報告	福島の実況と課題 中田スウラ FUREセンター長 ～復興を拓く〈学び合うコミュニティ〉の形成に向けて～ 産業・街づくり支援担当報告 初澤 敏生 FURE地域復興支援部門長 原子力災害被災地の復興の課題～避難者・まちづくり・産業～ 食・農復興支援担当報告 小松 知未 FURE特任准教授 放射能汚染からの食と農の再生を～5年間の挑戦と到達点～ 放射能汚染対策担当報告 河津 賢澄 FURE特任教授 福島県における放射線(能)の実況
III 部	16:10～ 17:25	パネルディスカッション	「一震災・原発事故から5年を迎える福島を考える」 [モデレーター] 山川 充夫氏 帝京大学 経済学部教授 (福島大学名誉教授) [パネリスト] 松本 幸英氏 福島県双葉郡 檜葉町長 林 由美子氏 タカラ印刷株式会社 取締役会長 土屋 葉氏 愛知大学 文学部准教授 天野 和彦 FURE客員准教授
閉会	17:25～ 17:30	挨拶	中田 スウラ FUREセンター長

※FURE=福島大学うつくしまふくしま未来支援センターの略

ほんとの空が戻る日まで 参加申込書

2月19日(金)までに

いずれかの方法によりお申し込みください。

福島大学うつくしまふくしま未来支援センター

FAX.024-504-2865 web専用参加申込フォーム

mail▶fure@adb.fukushima-u.ac.jp https://ws.formzu.net/fgen/S21174822/



氏名(フリガナ)	勤務先・学校	電話番号
(代表者)		
(FAXでお申し込みの方)返信用FAX番号		

お問い合わせ先 | 福島大学うつくしまふくしま未来支援センター TEL.024-504-2865

未来支援センター

検索